

シーズシー株式会社



エコアクション21[®]
認証番号0013552

2023年度 環境経営レポート

(対象期間：2023年7月～2024年6月)

**クリーン化を
目指す企業のパートナー**

異物対策は、どのようにすればよいのでしょうか。
市販されている装置や製品は、私たちの問題に効果的なのでしょうか。
異物対策問題を考え、クリーン技術を推進する。
そのための装置、ツール、備品を開発し販売している会社。
それが、シーズシー株式会社です。

 **CSC-BIZ.COM**

発行日：2024年9月13日

I. 環境経営方針

<環境経営理念>

シーズシー株式会社は、ますます深刻化する地球温暖化や今後予想される地下資源の枯渇への対応が人類共通の重要課題と考えており、本業であるクリーンルームの販売を通じてどうすれば二酸化炭素の排出低減になるかを考え、塵不良による廃棄品の低減など、シーズシーにしかできない観点で地球温暖化問題に取り組みます。

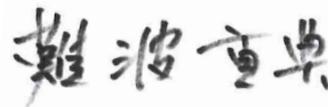
神戸市もここ50年で年間平均気温が2℃以上上昇しており、個人の欲を捨て地球環境の為に尽くせる人材育成をシーズシーとして取り組みます。

<環境保全への行動指針>

1. 環境経営の継続的改善を誓約します。
2. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
3. 下記の環境に配慮した顧客のための種々の活動に取り組みます。
 - 3-1. 弊社の省エネプランにより顧客の二酸化炭素排出量の削減に貢献します。そのためにもイニシャルコスト優先の提案をせずに省エネを推進したランニングコスト低減提案を薦めます。
 - 3-2. 塵付着による外観不良削減を顧客と一緒に取り組む事で廃棄ロスをなくす事に努めます。
 - 3-3. 省エネ製品の商品拡販を通して、顧客の環境負荷低減に貢献します。
 - 3-4. 事務所内の緑化を実施し来訪者が共感できる事務所造りを目指します。
4. 電力・燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減に努めます。
5. 梱包材のリサイクル及び過剰梱包の見直しを行い、廃棄物を削減します。
6. 節水に努めます。

制定日：2021年6月10日

代表取締役



II. 組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
シーズシー株式会社
代表取締役 難波 重典
- (2) 所在地
本 社 〒651-0085 兵庫県神戸市中央区八幡通1-1-14 4F
- (3) 環境管理責任者の氏名と連絡先
責任者 総務経理グループ 浦辻飛鳥
TEL : 078-252-7201
FAX : 078-252-7210
E-mail : uratsuji@csc-biz.com
- (4) 事業内容
クリーンルームに関する機器・備品の販売
クリーンルームの評価及びサービスの情報提供

主要製品

エアシャワー、クリーンブース、クリーンルームライト、ミストストリーム、
クリーンウエア

- (5) 事業の規模
製品出荷額 7.6億円 (2024年6月決算)

	本社 事務所	本社 商品倉庫	本社倉庫 904号	本社 ラボ	合計
従業員 (人)	13	無人	無人	無人	13
延べ床面積 (㎡)	119.5	32.47	31.9	82.33	266.2

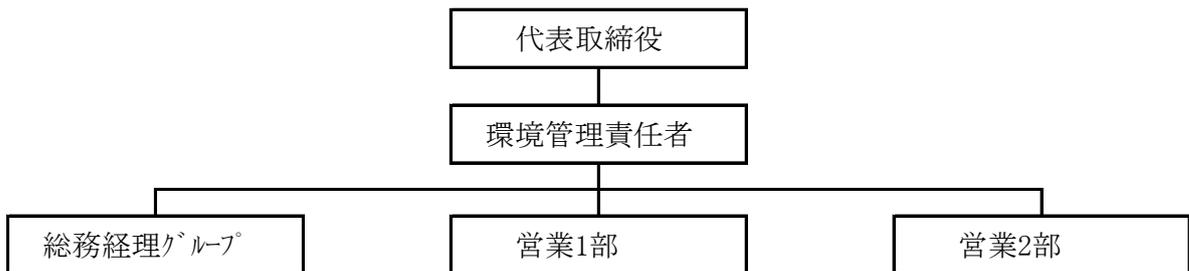
- (6) 事業年度 7月～翌年6月
- (7) 認証・登録の範囲

登録事業者名 : シーズシー株式会社
対象事業所 : 本社
対象外 : 本社倉庫 904号

※段階的認証で2025年11月頃に拡大予定

活動 : クリーンルームに関する機器・備品の販売、
クリーンルームの評価及びサービスの情報提供

環境経営実施体制



	役割・責任・権限
代表者（社長）	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・効果的で必要十分な実施体制の構築 ・環境管理責任者の任命及び各自の役割・責任・権限を定め全従業員へ周知 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・経営における課題とチャンスの明確化 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し・指示を実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規制等の取りまとめ表の作成・確認、遵守評価の実施 ・環境経営目標・環境経営計画書の作成・確認 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・緊急事態対応手順のテスト、訓練の指導及び総括 ・環境活動の実績集計 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営レポートの作成・確認、公開 (事務所への備付けと地域事務局への送付) ・環境教育訓練計画の作成と実施の管理
各担当者	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の運用管理 ・緊急事態対応手順のテスト、訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正・予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

Ⅲ. 主な環境負荷の実績

項目	単位	2022年度 基準年度	2023年度 実績
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	12,780	11470
電力	kWh	14,699	14240
ガソリン	L	3,393	2894
一般廃棄物排出量	kg	880	995
水使用量	m ³	不明	不明

注1) 化学物質は使用していない。

注2) 水道水使用量は、ビルの一室を賃貸しており共有部分の為不明。

Ⅳ. 環境経営目標及びその実績

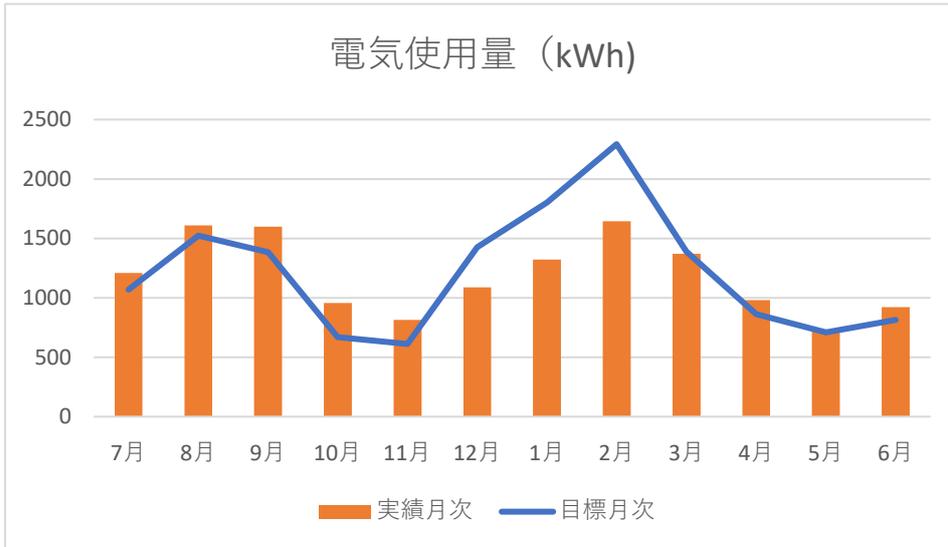
(1) 中期目標及び実績

項目	年度	2022年度 基準年度	2023年度		2024年度	2025年度
			目標	実績		
I 環境に適した製品の販売						
気流制御で換気回数低減可能なCSバルーン販売	万円 対基準	975万円	1,300万円 (+33%)	3,911	1,500万円 (+54%)	1,800万円 (+85%)
ヒーターレス加湿装置の販売	台 対基準	7台	10台 (+43%)	9	12台 (+71%)	14台 (+100%)
換気回数を低減するクリーン機器の販売	台 対基準	16台	16台 (±0%)	27	20台 (+25%)	24台 (+50%)
II. 二酸化炭素						
電力使用量削減	kg-CO ₂ 対基準	12,780 kg-CO ₂	12,653 kg-CO ₂ (△1%)	11,470	12,524 kg-CO ₂ (△2%)	12,397 kg-CO ₂ (△3%)
ガソリン使用量削減	kWh	14,699kWh	14,552 kWh (△1%)	14,240	14,405 kWh (△2%)	14,258 kWh (△3%)
	L 対基準	3393L	3359 L (△1%)	2,894	3325 L (△2%)	3291 L (△3%)
III. 廃棄物排出量						
一般廃棄物削減	kg 対基準	880.1kg	871.3 kg (△1%)	995.0	862.5kg (△2%)	853.7 kg (△3%)
過剰梱包エアキャップ購入数削減	巻 対基準	16巻	15巻 (△1%)	13	14.8巻 (△2%)	14.7巻 (△3%)
IV. 水使用量削減						
	m ³	-	節水の推進	○	節水の推進	

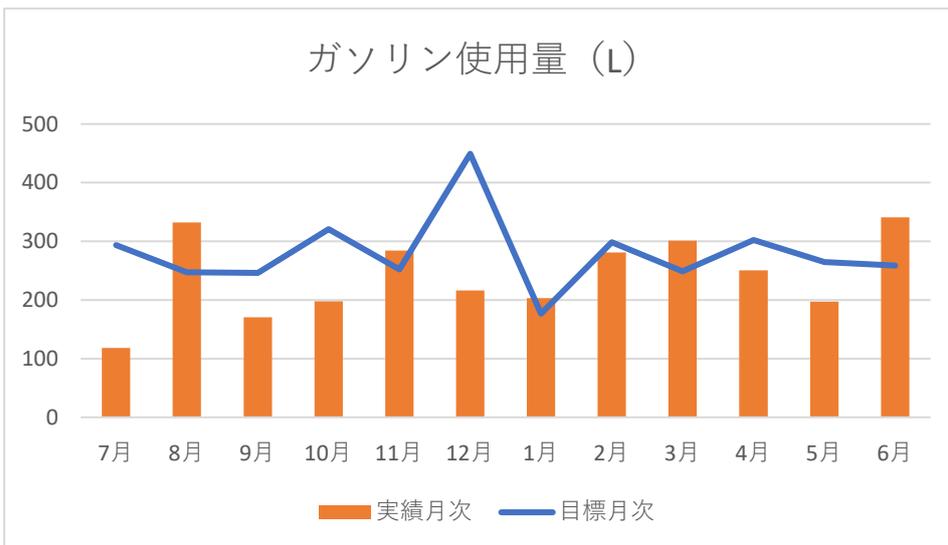
注1) 電力の二酸化炭素排出係数(調整後)は、2018年度関西電力実績値の0.334kg-CO₂/kWhを使用。



二酸化炭素排出量は、前年に比べて電力、ガソリンともに減少した。



最も消費電力の高いエアコンを使用時期を遅らせ、使用も最小限としたため冬は達成した。



取引先様の場所等によって、使用頻度にはムラがある。
社用車の買い替えで、エコカーであるプリウスXを選定した。

V. 環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

◎よくできた ○まずまずできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価結果と次年度の環境経営計画（取組内容）
環境に適した製品の販売 (①③は目標達成、②は目標未達成)		
①気流拡散CSバルーンの販売		
・CSバルーン付クリーンルーム、ブースの販売拡大	◎	HPの拡充や製品知識の向上による営業力が上昇
・クリーン機器とその他既設空調機などへの取付提案	◎	他社との差別化、効果の説明能力が向上
・不織布の定期交換の案内	△	引き合い対応に終始
・バルーンを使用したエアシャワーの拡販	○	新規案件については提案したが、レポートに対しては過去の標準と比較し価格が高いため採用数は少なめ。
②ヒーターレス加湿装置の販売		
・既存顧客で加湿要求のある業種に個別に提案	○	引き合い対応に終始
・クリーンルーム引き合い時提案	○	加湿要求があった際には提案でき採用につながった
・納入実績と同業種の顧客への提案	△	引き合い対応に終始
・セミナー開催時に案内	△	概要説明程度
③換気回数を低減するクリーン機器の販売		
・自社ホールムで展示会を実施	△	要望があった場合の対応となった
・自社ホールムセミナーでの案内	△	要望があった場合の対応となった
・換気回数を低減するクリーン機器を使用したクリーンルームの受注件数を年間8件以上とする	◎	客先での横展開や、ロコミ、HPの影響で製品の認知度が広がっている。
・引き合い状況によりHPの見直し	◎	情報や動画を追加し、伝えやすい形にしていっていった。
二酸化炭素排出量の削減 (目標達成)		
・下記の通り。		
電力使用量の削減 (目標達成)		
・使用していないエリアを共有部分含めて消灯する	◎	共有部のお手洗いと洗面所も消灯することにした
・ブラインドを閉め日差しや輻射熱の影響を避け空調を効率UP	○	事務所の明るさにも影響するので主に日中、適度に閉めている
・CO2削減に関する情報発信	△	情報発信量は多くなかった
ガソリン使用量の削減 (目標達成)		
・急加速の抑制	◎	車間距離を適切に取ることで抑制した
・効率的な移動	◎	打ち合わせをまとめたり、電車を活用した
・冷暖房抑制	△	暑い時期は使用量がどうしても多くなった
・車買い替えはエコカーを選定	◎	エコカーのプリウスXを購入した
一般廃棄物の削減 (目標未達成)		
・来客以外はマイコップを使用	○	一部紙コップを使用していた
・印刷数の削減（データ管理、再利用可能分は裏紙へ回し積極使用）	◎	請求書が紙保管からスマート証憑へ切り替え、給与明細も電子交付と変更したので印刷数が減少した
・梱包材、裏紙の再利用の継続	◎	継続して使用できた
期末にPC関連や工事部材等を一気に処分したため未達成		
過剰梱包資材エアキャップの削減 (目標達成)		
・過剰梱包しない意識付け	◎	意識付は各々で十分できている。来期も継続
・精密機械のみエアキャップ使用	○	一部の梱包材を段ボールから紙袋へ変更した
・その他、保護材はホーガスパー使用	◎	売上に応じた適量を使用した
水使用量の削減 (目標達成)		
・水道垂れ流し禁止	○	寒い時期は長めに手を洗うこともあった
・蛇口水量を少し減らす	○	全員が意識してはいなかった
・節水意識の維持	◎	蛇口前の掲示もあり意識できている

VI. 環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	遵守すべき要求事項	遵守評価
廃棄物処理法	委託基準：一廃収集業者の許可の確認 <input type="checkbox"/>	遵守
フロン排出抑制法	フロン類使用機器の定期点検と記録、漏洩防止、廃棄時の適切な処理	遵守
消防法	消火設備の定期点検（防火対象物） <input type="checkbox"/>	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規への違反はありません。
なお、関係当局より違反等の指摘はありません。

VII. 代表者による全体の評価と見直し・指示

人災か天災か区別がつかない災害が増えている昨今、
明日のわが身にならぬように周りに流されることなく自分の信念や考えを貫いて
今できる事に取り組めるかが問われています。
未来ある地球の為に微力でも全力で推し進めましょう。

項目	見直し要否	見直し内容
環境経営方針	否	-
環境経営目標	否	-
環境経営計画	否	-
実施体制	否	-
その他	否	-

2024年9月10日
代表取締役 難波 重典

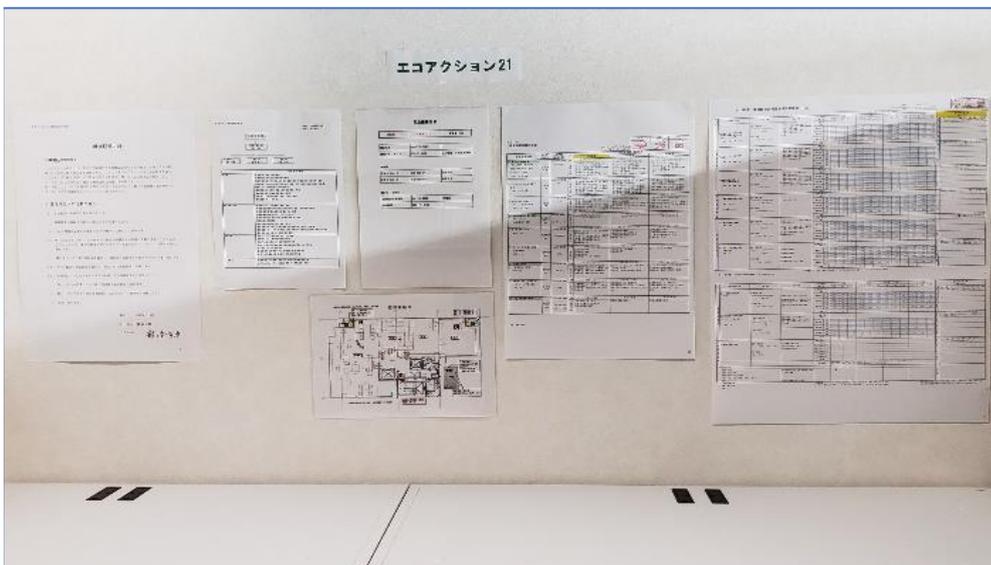
VIII. 環境活動の紹介例



<樹脂布製拡散板『CSバルーン』 製品画像>



<ヒーターレス加湿装置『クリーン eco ヒュー』 製品画像>



<エコアクション21 掲示板>



<事務所の緑化>

